

授業科目	家庭支援論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE31221J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP3-2			
担当教員	文屋 典子							
授業概要	<p>少子高齢化など社会的状況の変化と家庭や家族のあり方が多様化するなかで、子ども家庭支援に携わる専門家として、子どもと家族にどのように向き合っていくかが問われている。授業では、子どもや家庭をとりまく状況と家族を理解し支援するうえで必要となる理論について解説し、事例を用いて子育て家庭が抱えるニーズを的確にとらえ、支援していくことを学び、考察を深める。</p> <p>この授業は遠隔授業として実施する</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の意義と機能について説明することができる。 2. 子育て家庭をとりまく社会的状況について説明することができる。 3. 子育て支援施策や社会資源等、子育て家庭の支援体制について説明できる。 4. 家庭の状況をアセスメントし、ニーズに応じた支援の展開と関係機関との連携について考察することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	70	0	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			50		20		70	
関心・意欲 (DP3-2)			20		10		30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの1～4に到達したうえで、子育て家庭をめぐる福祉的課題を適切に捉え、課題解決に向けた支援について、様々な可能性とリスクをふまえて多角的に考察することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の意義と機能について説明することができる。 2. 子育て家庭をとりまく社会的状況について説明することができる。 3. 子育て家庭の支援体制について説明できる。 4. 家庭の状況をアセスメントし、ニーズに応じた支援の展開と関係機関との連携について考察することができる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:家庭の定義と機能 授業の進め方についてのオリエンテーションと「家庭」の定義と機能について解説する	講義	世帯状況と家庭の機能の変化について考察する	40
2	テーマ:子ども家庭支援の意義と役割 子どもの養育をとりまく家庭と社会の状況と家庭支援が求められる背景、子ども家庭支援の意義と目的について解説する	講義	子育て家庭をとりまく状況と子ども家庭支援の意義と役割を理解する	40
3	テーマ:保育所を利用する子どもの家庭への支援 家庭が抱える生活課題と保育所等が行う子ども家庭支援について解説する	講義	保育所と保育士が家庭への支援として果たす役割と支援のあり方について理解する	40
4	テーマ:妊娠・出産をめぐる親の思い 女性のライフ・コースと「妊娠・出産」をめぐる家族が抱える課題、親の思いについて解説する	講義	子どもの育ちにおける親の思いについて考察する	40
5	テーマ:地域の子育て家庭への支援 地域社会の変容と様々な状況にある家庭の生活課題や子ども理解・保護者理解にもとづいた子ども家庭支援の展開について解説する	講義	様々な状況にある家庭の生活課題と地域の子育て家庭への支援について考察する	40
6	テーマ:現代の家庭における人間関係 子どもの成長と家庭内の人間関係の変化、現代の家庭・家族の変容、多様な家族関係、配慮を要する人間関係について解説する	講義	現代の家庭における人間関係について考察する	40
7	テーマ:特別な配慮を必要とする子どもと家庭への支援 特別な配慮を必要とする子どもたちの理解と家庭支援の方法について解説する	講義	特別な配慮を必要とする子どもたちの理解と保護者支援の方法について理解する	40
8	テーマ:要保護児童とその家庭に対する支援 要保護児童と家庭をとりまく状況とその背景について解説し、事例検討を通して支援の視点について考察する	講義、事例検討	演習を振り返り、要保護児童と家庭をとりまく状況の理解と支援の視点について考察を深める	40
9	テーマ:親になるということ 子どもの成長に欠ける親の思いや子供の成長と家族の発達・変化について、家庭の機能、家族の構造、役割、関係性などの概念をもとに解説する	講義	子どもの成長と家族の変化、家族をアセスメントするための概念について理解する	40
10	テーマ:親の思いを受けとめること 親の思いを受けとめ、子どもの育ちの喜びを保護者と共有することについて、事例研究とグループディスカッションを通して考察する	講義、事例研究、グループディスカッション	演習を振り返り、親の思いを受けとめること、子どもの育ちの喜びを保護者と共有することについて考察を深める	40
11	テーマ:子ども家庭支援の展開と方法 様々なニーズに対する子ども家庭支援の展開と方法について、事例研究を通して解説し、考察する	講義、事例研究	様々なニーズに対する支援の展開と方法について、考察を深める	40
12	テーマ:男女共同参画社会とワークライフバランス 子育て・家庭・仕事をとりまく現状と男女共同参画社会の実現がめざす個人・家庭の姿について、演習を通して考察する	講義、演習	演習を振り返り、子ども・家庭・個人の生活に対する様々な価値観、多様性への気づきを深めると同時に、社会を変革する力について考察する	40
13	テーマ:子ども家庭支援における関係機関との連携 子どもと家庭をとりまく現状と多様化するニーズ、家庭支援における関係機関との連携について解説する	講義	子どもと家庭をとりまく現状と多様化するニーズ、それらに対応する関係機関との連携について考察する	40
14	テーマ:子ども家庭支援の課題と展望 子育て家庭の支援における課題と今後の展望について解説し、14回にわたる授業のまとめをおこなう	講義	子ども家庭支援の課題と展望について考察を深め、全14回の授業を振り返り要点を整理する。	60

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	子ども家庭福祉に関する施策とサービス、子どもの発達、保育士の専門性についてこれまで学んできたことを整理し、理解しておきましょう。			
テキスト	MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 10 「家庭支援論」 伊藤嘉余子・野口啓示 編著 ミネルヴァ書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	令和2年版「少子化社会対策白書」 (インターネット上の内閣府ホームページから見るができます) 「子育ての変貌と次世代育成支援 -兵庫レポートにみる子育て現場と子ども虐待予防」 原田正文 著 名古屋大学出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	子どもと家庭をとりまく社会状況に関心を持ちましょう。制度やサービスの整備状況を知ることはもちろん、新聞などにも目を通し、「今、何が起きているか」に目を向ける習慣が大切です。また、白書などを調べ、データをもとに考察する習慣を身につけましょう。			
達成度評価に関するコメント	レポートとレポート外の提出物(毎回の授業で課す授業の振り返り、まとめ)により評価します。人びとの生活や現在の社会的状況に目を向け、様々な福祉的課題に関心をもつことができているかどうか、解決に向けて自分なりの問題意識や考えをもつことができているかどうかを評価します。			

